

メタバースプロジェクト (令和7年、令和8年大阪府福祉基金地域福祉振興助成金採択事業)

【メタバースプラットフォーム】



グーグルプレイからアプリを
インストールする必要があります。



【メタバースワールド名】



Wings of the Future ～未来への翼～

メタバースプロジェクトの根幹であるメタバースの仮想空間のコンテンツを4つに分類し、デジタルでの繋がりによって自己発見（自己肯定）と人との交わりを促進し、アナログコンテンツのサードプレイスにつなげ、社会参加（地域移行）を促すプロジェクトとして推進します。



メタバースプロジェクト | 概要

「メタバースを入口にして、現実社会への小さな一歩につなげる」 — 安心できる出会いから、社会参加・自立へ

目的 外出や対面での交流に不安がある人が、安心できる仮想空間で人とつながり、自分らしい次の一歩を見つける。

1 | なぜ必要か

不登校・ひきこもりなど、社会との接点を持ちにくい人にとって、最初の一步は大きなハードルです。まずは自分のペースで参加できる「もう一つの居場所」をつくります。

背景データ（資料掲載値）

- ・小・中学校で不登校経験あり：33.5%
- ・小・中・高・大学まで広げると：61.4%

※厚生労働省「ひきこもり相談事例調査」として提示された数値。引用・公表時は原資料との照合を推奨。

2 | どんな支援をするか

メタバース空間「Wings of the Future ～未来への翼～」を活用し、アバターで交流・会話・自己表現を行います。

支援の流れ

- ① オンラインで安心してつながる
- ② CSW・相談支援員等が信頼関係を築く
- ③ 学校・フリースクール・SSW／SC等と連携
- ④ 本人・家庭に合った支援と一緒に考える

大切にすること

本人の意思とペースを尊重し、無理に急がせず、オンラインと対面を往復しながら支援します。

3 | 目指す変化

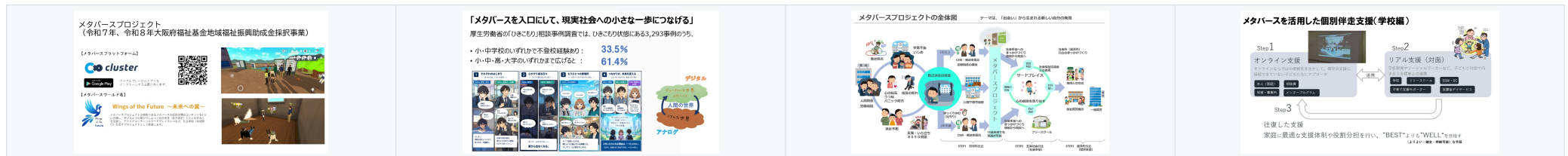
STEP 1 日常的な自立
生活リズムを整え、安心して相談できる関係をつくる。

STEP 2 生活・社会参加
会話や対話、自己理解・自己肯定感を育み、地域との接点を増やす。

STEP 3 経済的自立への支援
地域活動、福祉就労、一般就労など、本人に合った参加の形につなげる。

成果のイメージ

「出会い」から新しい自分を発見し、仮想空間での経験を現実の暮らしへ広げる。



実施の基本方針：メタバースだけで完結させず、本人の希望に応じて、相談支援・学校・地域・福祉機関との連携を通じて現実の社会参加につなげます。